



## 新任会長挨拶

同窓会瑞山会が設立して早くも10年が過ぎました。設立当初から今日まで卓越した指導力で瑞山会の基礎固めに尽力された初代会長栗野氏から次期会長のバトンタッチを受けました第1期生の前田勝昭です。今後とも御協力をお願いいたします。

さて振返れば、この10年間で我国経済も成長から安定へと変化をとげ、そろそろ大人

の苦しみを味わう今日この頃となってまいりましたが、反対に我が同窓会はいよいよ青年期を迎えるに至り、青年のエネルギーと連帯感を発揮し、卒業生、在校生と共に発展、成長をとげながら皆様のために少しでも意義のある会づくりをしていくことを目標として当面は次のテーマに取り組みたいものと思っています。

1. 同窓生の相互扶助精神の向上
  2. 同窓生、在校生を含めた親睦の輪の拡大
- 今後とも互いに協力しあって楽しい同窓会を作っていきたいものです。

# 昭和63年度 通常総会兼代議員会報告

日 時 昭和63年 8月21日  
 場 所 名鉄ニューグランドホテル  
 経過報告 瑞山会名簿（追録）の発行  
 瑞山会報（9号・10号）発行  
 事業部活動（市大祭 S62. 11. 1  
 ゴルフコンペ、テニス大会）  
 事業計画 瑞山会名簿追録の発行  
 瑞山会会報の発行  
 卒業祝賀会助成  
 会員親睦会の実施  
 役員選出 今回の総会におきまして、瑞山会  
 創立以来会長の職務を続けられた  
 栗野泰次さん（1期生）が勇退され、  
 新会長として前田勝昭さん（1期生）  
 が満場一致で選任されました。  
 新しい役員は、下記の如く選任さ  
 れました。

会 長	前田 勝昭	1期	岡崎ゼミ
副 会 長	近藤 常夫	1期	平田ゼミ
〃	多和田 真	4期	岡崎ゼミ
〃	佐藤 克己	8期	岡崎ゼミ
庶務部長	八木 得三	5期	山本ゼミ
副庶務部長	大矢 邦博	20期	多和田ゼミ
庶務部	渡辺 尚泰	3期	柴田ゼミ
〃	高垣 茂寿	5期	山本ゼミ
〃	杉本 仁	8期	藤田ゼミ
〃	荒深美和子	9期	木村ゼミ
〃	倉地 弘美	14期	松永ゼミ
〃	木村 剛	17期	辻ゼミ
編集部長	手塚 祥郎	1期	牛嶋ゼミ
副編集部長	山田 雅也	3期	松永ゼミ
編集部	榊原 茂	1期	松永ゼミ
〃	伊藤 幸雄	5期	妙見ゼミ
〃	鈴木 正彦	7期	芝原ゼミ
〃	田中 喜夫	7期	岡崎ゼミ
〃	寺沢 賢治	11期	牛嶋ゼミ
〃	石川 雅子	13期	牛嶋ゼミ

編 集 部	水野 誠	13期	宮川ゼミ
〃	松川 倫典	16期	塩見ゼミ
〃	服部 篤典	18期	安藤ゼミ
〃	石川 勇治	21期	上村ゼミ
事業部長	逸見 和弘	1期	松永ゼミ
副事業部長	杉浦 晴義	5期	松永ゼミ
事業部	都島忠比古	3期	山本ゼミ
〃	木村 新作	5期	岩橋ゼミ
〃	伊藤 政明	5期	柴田ゼミ
〃	加藤 実	6期	宮川ゼミ
〃	岡田美津雄	10期	中居ゼミ
〃	村岡 範久	15期	松井ゼミ
〃	畔柳 一	19期	星野ゼミ
名簿部長	中村 正治	5期	木村ゼミ
副名簿部長	伊藤 孝	6期	山本ゼミ
会計部長	坂野 修	2期	山本ゼミ
監 事	栗野 泰次	1期	大山ゼミ
〃	松原 隆二	4期	中居ゼミ

## 会議活動報告

理 事 会 昭和62年10月1日  
 （役員選考委員会）  
 昭和62年10月15日  
 昭和63年2月10日  
 昭和63年4月14日  
 昭和63年5月26日  
 昭和63年6月23日



会計報告

<収支決算書>

<収支予算書>

勘定科目		第 10 期 (昭和62年度)	第 11 期 (昭和63年度)
(収入の部)	会費収入	2,302,000	2,010,000
	新入学生	2,030,000	2,010,000
	その他	272,000	0
	小計	(2,302,000)	(2,010,000)
	会費外収入 基金積立金とりくずし	415,493 785,405	430,000 2,350,000
収入合計		3,502,898	4,790,000
(支出の部)	名簿発行費引当金	597,998	600,000
	名簿追録発行費	261,400	260,000
	会報発行費	290,000	280,000
	総会費	180,600	890,000
	新卒業生祝賀会費	0	200,000
	通信費	822,450	980,000
	事務運営費	472,781	620,000
	その他	877,669	960,000
	小計	3,502,898	4,790,000
	基金積立金	0	0
支出合計		3,502,898	4,790,000

記念講演

情報化と経済学

経済学部長 木村吉男



正確な情報をはやく伝達あるいは入手する事が現代社会において益々重要となっています。これに関連して経済学の学問的貢献の先陣争いを話しましょう。御存じのように、ケインズは1936年に「一般理論」を世に出しましたが、このケインズ理論の解釈をめぐる様々な論争が展開され、IS曲線やLM曲線を使用したヒックスのケインズ解釈がアメリカに渡って受け入れられた。更に、ケインズ理論を基にしたクラインの計量モデルが大戦後の経済予測に成功した事もあり、アメリカ的なケインズ経済学が一時は人気を集めました。やがてそうしたケインズ理論では説明のつかないスタグフレーションが生じるようになり、再びケインズ理論とは何かが問い直されました。これに対応して、クラウワーが1965年に二重決定という理論を発表しました。個

々の消費者の財需要には価格が影響を及ぼすにもかかわらず、ケインズ理論における国全体の需要(総需要)には価格が影響しないという矛盾がある。二重決定の理論はこの矛盾の解決を目指したものです。しかしこれは既に森嶋先生(現ロンドン大学教授)が10年前に「資本主義経済の変動理論」という本の中で述べておられたのですが、日本語であったため世界に広く伝わらず、今日ではクラウワーの二重決定と呼ばれています。

企業の販売計画と情報の不完全さについて少し話しましょう。企業が販売計画を立てても売れ残る時は広告、値引きといった追加費用をかけて売り切ってしまうか、そのような手間をかけずに売れ残りを承知で計画通りにいくという2通りがあり、ケインズの世界はこの後者であります。現代社会はコンピュータ等の情報技術の発達が著しく、大きな費用をかけずに売れ残りを防ぐ事が可能になってきていますから、前者の世界と考えるよいでしょう。すなわちケインズ理論はこうした側面からも修正される必要があります。これからは経済学も情報化社会に適応した理論の展開、あるいは通信技術と経済の関係をしっかりと考えてゆく事が大切になると思います。



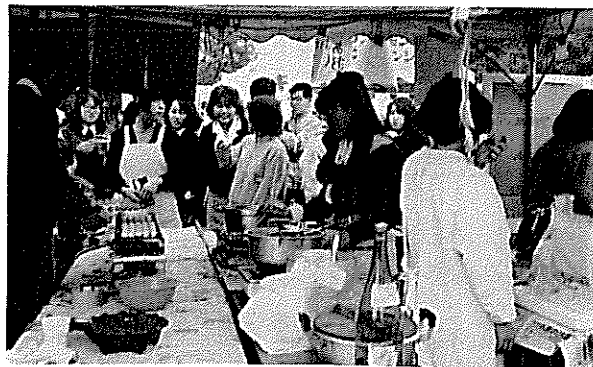
10月30日(日)~11月5日(土)

市大祭に参加したOBコーナーも今年で3回目。理事の人も手慣れたもので、衣類のバザーに輪投げにと大活躍。

OBの人達も家族連れで多勢が集まって、子供は輪投げ、お母さんはバザーの品物選び、お父さんはビールのコップを片手に旧友と雑談。その後は、OBコーナーでもらった金券を手家族そろって一日楽しむ市大祭。



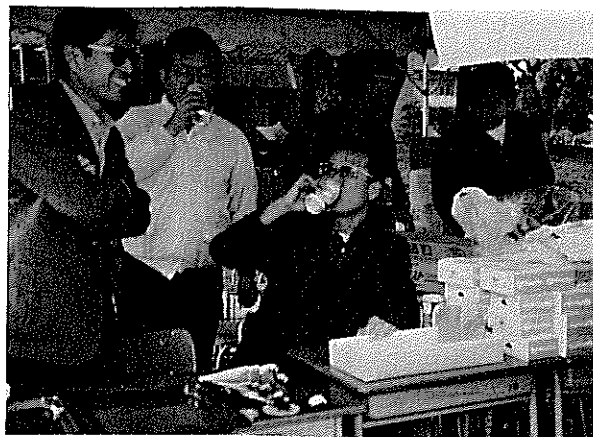
えーっ! このセーター五百円!?



早く焼いてよ、みたらし団子



たのしい景品、輪投げコーナー



これでもOB、どのおじさん?



会長も登場、国際親善に一役



今年も大盛況の市大祭でした

# ゼミナール紹介

## ◆ 塩見ゼミ



ゼミ旅行は年に3回、ゼミの時間にソフトボールをすることもしばしば…とくればもうどここのゼミかおわかりですね。そう、塩見ゼミです。名市大中探しても、これほどレクリエーションの多いゼミは他にありません。

かといって塩見先生が遊び好きだというわけではありません。先生は「経営組織論」や「経済史」について話し出すともうとまりません。特にトヨタ自動車とそのグループの構造、歴史については大へん熱弁を振るわれ、ゼミ生が口をはさむスキがありません。

ですが、私たちのたてたレクリエーション企画に対しては黙って許してくれます。喜んで企画に参加してくれます。

私たちゼミ生は、こんな塩見先生が大好きです。塩見ゼミを愛しています。これは、現在のゼミ生だけでなく、過去から、そして未来に向けてすべての塩見ゼミ生がこの気持ちでいます。そしてすべての塩見ゼミ生がこのゼミに入ってよかったと思っています。

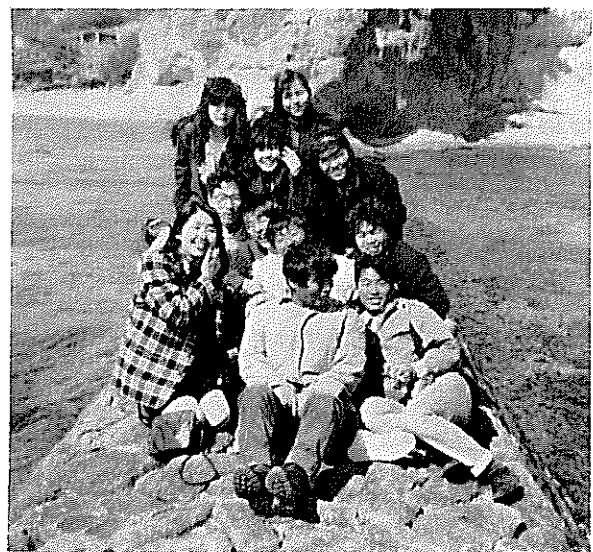
## ◆ 西田ゼミ

我ら西田ゼミは経営の勉強をしています。当ゼミはより実際の企業の経営に即したテーマを扱っています。

3年生は新製品開発を中心とするマーケティングの基礎について、4年生は企業の経営戦略を扱い、いかにして事業発展をするかについてがテーマです。

ゼミの形式としては、毎回ディスカッション課題を作り、それについて自由に意見を出し合いながら進めていきます。具体的な事例を扱っているので、内容もわかりやすく、また、オープンに議論するので、型にはまった講義とは違った創造的な生きた勉強ができるのです。そして、月一回、3年生と4年生で合同ゼミを行い、今は西田先生の著書である「ビジネス・ロマン」を扱い、それについて議論しています。

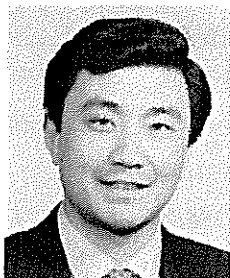
このように、西田ゼミは自分たちで作っていくゼミで、「ロマンティスト西田先生」とともに、みなロマンを求めているのです。





## 市大での留学生活

大学院経済 M<sub>2</sub> 張 申 偉



光陰矢の如し。知らず知らずのうちに名古屋市立大学に来てからすでに二年余り経っている。この二年間の留学生生活を顧みれば、学

業の上では諸先生がたの一方ならぬご指導、またお世話を戴いていることはもとより、普段の生活の中で色々と経験してきたことや日本の人と交流したことなどで見聞を広めてきた。

日常における交流といえば、学校内で過ごす時間が大半なので、おもに先生や大学院の友達と行っている。こうした交流の中で、よく話題にのぼるのは何とんでも中華料理である。いつも弁当持参で学校へ通っている私であるが、ほかの院生も弁当持参が多い。昼の「持参弁当会」を開くとき、私の持ってきた弁当が注目の的となる。この場合、誰が作ったとか、どんな材料とか、いろいろとよく質問される。またおいしそうだなと感心する人もいる。

中国では男性も料理をするので、この時私は僕が作ったと胸を張って答え、また午後の授業時間がぎりぎりなるまで料理法などについて詳しく「料理教室」を始めなければならない。でもよく考えてみれば、こうした草の根の交流があってこそ日本人達との深い友情が生まれてきたのではあるまいか。

### 会費値上げのお知らせ

昭和63年6月23日開催された理事会において、瑞山会会費の値上げが承認され、8月21日の通常総会で報告されました。改訂後の金額は年会費4,000円（現行2,000円）、終身会費20,000円（現行10,000円）です。実施日は上記理事会開催日以降ですが、来年3月31日までに納入していただければ旧会費で結構です。

## 牛嶋ゼミ同窓会・正友会幹事会

6月18日午後4時より経済学部会議室にて正友会幹事会が開かれました。

第1期から第21期までの各卒業年次毎2～3名の幹事の中から、23名の出席を頂き、今後の運営について検討しました。

最初に牛嶋先生から、大学の近況とゼミ同窓会に望むことについてお話があり、幹事意見交換の後、次の通り決定しました。

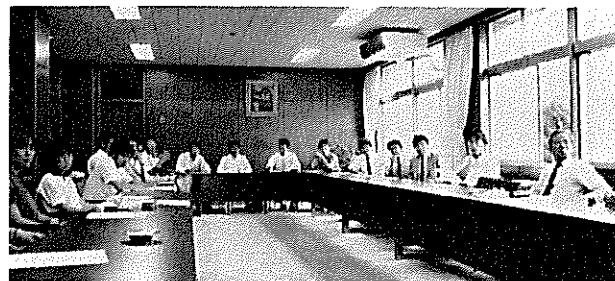
① 総会は2年に1回実施する。

来年は6月に総会を開催し、その準備の為に1月21日4時より市大にて幹事会を行う。

② 幹事は総会、名簿会報、会計を担当する。

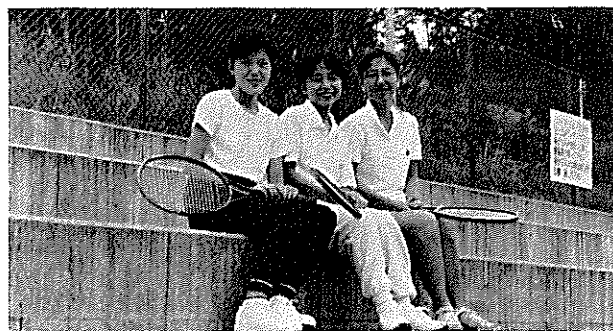
③ 役員については総会開催年毎に改選する。

④ 会費は毎年集める。



## 事業部だより

第13回OBゴルフコンペが、10月22日快晴の秋宿の下、中日CCにて行われました。優勝 壁谷禎敏氏（1期生）、準優勝 藤原悟氏（1期生）でした。次回は来年4月22日、中日CCの予定です。また、テニス大会は、前回と同じく岐阜県加子母村にて10月2日開催されました。今回は前夜をランプで有名な渡合温泉泊りとしたため、大変好評でした。



ひとやすみ 笑顔かわいい テニスギャル